

～地域別ワークショップ情報誌～

# まちづくり 瓦版

菊川・四熊  
・小畑小学校区  
第 1 回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

## “ 私たちのまち ” を語り合う、ワークショップ<sup>o</sup> 開かれる

7月27日(金)、午後6:30から、菊川公民館において、周南市都市計画、都市整備課主催の第1回地域別市民ワークショップ(参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会)が開かれました。

ワークショップの目的は、周南市の都市計画の基本的な内容、及び緑地の保全や公園等の計画づくりのための「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。

地区内から24人が出席し、市の司会進行のもと、3班にわかれて、地域の「良いところ」「悪いところ」について意見を出していただき、理想とする将来の姿やその実現のための方策などを提案していただきました。

約2時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。

地区の活性化や人が定住していくためにはどうしたらよいか、等、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

### 作業プログラム

時間	内容	時間
18:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約 20 分
18:55	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約 40 分
19:00	ステップ1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
19:35	ステップ2「こんなふうになりたいことを考える」 こんなふうになりたいねマップをつくり整備メニュー整理表にする	約 40 分
20:00	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
20:15	ステップ3「発表」 成果を発表します	約 20 分
20:35	まとめ	約 10 分
20:40	おつかれさまでした。解散。	

イチおしは  
「ホタルが多く、  
わき水がある」  
じゃけん。

(よいところで一番多かった  
意見です。)



# 1 班の主な意見

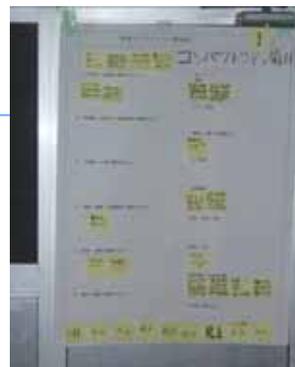
## よいところ

- ・調整区域なので環境がいい
- ・桜、めじろ、井谷・四谷・中山・間上の  
蛸、向土井に野生のカブトムシがいる
- ・コミュニティがいい  
道路問題に地元で取り組んでいる
- ・毎月28日不動さまのお接待あり
- ・駐在所におまわりさんが2名いる



## わるいところ

- ・川上ダム全体整備が悪い
- ・道路全般整備が悪い、国道2号線に歩  
道がない
- ・橋が老朽化して危険
- ・川の水があふれて危ない
- ・広い公園が少ない(子供の自転車の練  
習が出来ない)
- ・ミニ開発公園がない
- ・富田川で泳げるといい(昔は泳げた)
- ・昔(S40年代)あった石風呂がなく  
なった
- ・陶の道のPR不足



## まちづくりのキーワード・テーマ

新しい菊川まちづくり、自然環境をいかしたまちづくり、  
子供とお年寄りに優しいまち、コンパクトシティ菊川

## 施策メニュー

- ・農地を守っていく
- ・竹林の伐採をする
- ・竹炭を作る
- ・県道3号線(新南陽津和野線)の整備を緊急にす  
る
- ・展望台を作る
- ・下水の整備の推進
- ・陶の道のPRをする
- ・地元で安全安心できる維持管理の仕組みづくりを  
つくる
- ・県道の草刈りを自治会で行う



## ワークショップに参加して (終了後のアンケートのご意見です)

・まちづくり・都市計画に参加でき、皆さんが望んでおられることがわかり、とてもうれ  
しく思いました。

## 2班の主な意見

### よいところ

- ・ 蛍、かわせみ、金明水という湧き水、川上ダムのさくらなどがすばらしい
- ・ 史跡が多くある
- ・ 新畑から見た四熊岳の景観が美しい
- ・ 四熊の石垣景観、井谷の棚田の景観が美しい
- ・ 竹林資源を活用している
- ・ 商工業地帯に近くて便利である
- ・ 家、宅地が増えている



### わるいところ

- ・ トンネルの歩道がせまい
- ・ 県道がせまい、土砂くずれもある
- ・ 和田・上村線観光バスがスムーズに通れない
- ・ 公園の管理が悪い
- ・ 風水害時危険にさらされる
- ・ 避難地が老朽化して危険
- ・ 中山間地域でない(四熊)
- ・ 休耕地多い(四熊全体)



まちづくりのキーワード・テーマ  
先人の残した財産を守り育てる

### 施策メニュー

- ・ 休耕地対策・都市民の誘致
- ・ 自然米販売で活気のある農業を
- ・ 森林税利用した竹村、杉の山、整備をする
- ・ 県道321号線を観光バスがスムーズに通る様に拡張する
- ・ 遊歩道兼サイクルロードの設置(地道でOK)
- ・ 歩道と自転車道の整備をしてほしい
- ・ 公園に遊具の設置をする
- ・ 四熊川の葦の撤去をする
- ・ 井谷川の蛍の育成をする
- ・ 避難場所の確保
- ・ 街灯をつけて夜の安全確保を!
- ・ 四熊の歴史、文化を地域にアピールしたい
- ・ ウォーキングコースの立て札を立てる。
- ・ 井谷藪の会を活発にする



### ワークショップに参加して (終了後のアンケートのご意見です)

- ・ あらためて住んでいる地域の良さや課題を認識した。20年後を見すえたまちづくりが必要であることを痛感した。

# 3班の主な意見

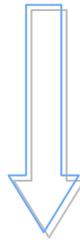
## よいところ

- ・交通事情がいい(国道が集落を貫通している)
- ・陶の道がある
- ・歩きたくなる道100選に選出された
- ・銀明水、金明水がある
- ・棚田などの眺望がいい
- ・発明クラブ、きこりくらぶ等が活動している



## わるいところ

- ・自由に家が建てられない(小畑)
- ・小学校がない(休校)、上下水道がない、店舗がない
- ・四熊ヶ岳の登山道が整備されていない
- ・距離は近いが道がない
- ・地すべり地域に指定されている
- ・地域のイベントに参加したくても出来ない
- ・気軽に使える交通手段がない



## まちづくりのキーワード・テーマ

### 彩りの里、小畑

国道が通り、水、棚田など彩り豊かな自然の里を都市部と交流を進める

## 施策メニュー

- ・宅地利用が可能になる様にする
- ・道の駅の小型版をつくる
- ・棚田オーナー制度、棚田の保全(石垣)していく
- ・竹林を整備する
- ・道路巾拡幅する
- ・四熊ヶ岳登山道を整備する
- ・小畑小学校を保全して有効活用する
- ・金明水の保全、景観、水質、ゴミを捨てない
- ・地形上の危険場所の対策を検討
- ・陶の道を保全し、活用していく
- ・四熊ヶ岳(六地藏様、ゆるぎ岩、不動様等)を守る



“瓦版”いかがでしたでしょうか。ワークショップをもう一度ふり返っていただければ幸いです。お気づきの点、付け加えたいこと、新しい提案などがございましたら、また都市計画や緑に関することなどまちづくり全般に関わるご質問がございましたら、遠慮無く都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。

まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後ともご理解・ご協力をお願い致します。